

習志野市障がい者地域共生協議会 vol.5

な ならし の ら た は たら く く

～夢に向かって共に働く願いを込めて～



黙々と仕事に励む川井さん。職人の域です。

「障がい者雇用」という概念ではなく、一人の働き手として

今回は、平成24年3月に、千葉県より「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス※」の認定を受けた習志野市茜浜の工業団地の中にある金属塗装会社「株式会社ニシマキ」における障がい者雇用の取り組みを紹介致します。創業者の西牧英虎会長にお話を伺って参りました。

偶然の出会いが生んだ障がい者雇用

平成3年2月、近くにあった取引先の工場の閉

鎖に伴い、先方の社長より従業員として働いてい

た知的障がいのある川井さんを雇って貰うよう相談を受けたことが、会社で障がい者雇用を始めるきっかけとなったのです。「元々荷物運搬などで会社に入りにしたので顔見知りだった」「良く働く若者で、気も利く印象だった」と会長。雇用にあたり特に不安はなく、実際に雇ってからもとりたてて述べるような苦労はなかったそうです。それから23年、川井さんは今も毎日現場に出て元気に働いています。

寡黙で真面目な3人

現在は従業員15名の会社に、川井さんの他に2名の知的障がいのある社員が働いています。一人は川井さんの3年後に同じ学校を卒業してやってきた丹治さん。会社の近くに住んでいた学校の先生からの「今度卒業する



丹治さん(左)と鈴木さん(右)夏場は汗だくです・・・。

生徒を雇ってほしい」という頼みを受けて、雇用に至りました。彼も勤続20年のベテランです。もう一人はやはり同じ学校から2年前に入社した鈴木さん。3人とも無遅刻・無欠勤で、真面目に仕事に取り組んでおり、仕事に気になり休日に自分から顔を出すことも。「いないと困る存在」と会長は言います。

大切な社員として長く働いて貰う

3人の仕事は、工場内の塗装作業前の下作業（塗装のために工場に納品された部品の梱包を解

く、部品を磨きコンベアーへ吊り下げる等）がメインです。工場内は温度も高く、快適で過ごしやす

いとは言えない環境で、また取り扱う部品ごとによるべきことや手順も変わるの、仕事の内容も決して楽ではありません。そんな現場に会長の息子さんの西牧英樹社長や専務をされている社長の奥様も頻繁に入り、3人への声かけや助言を適宜行っているため、彼らも一つ一つの仕事を覚え、安心して働くことができています。3人とも他の従業員と同じように「正社員」として雇用されており、年に二回の賞与と

毎年の昇給もあります。食事会や慰安旅行にも一緒に行きます。「本人や家族が希望すれば定年まで働いて貰いたい」と会長。さらっとおっしゃっていました。大切な社員として会社として長期雇用を真剣に考えていることが、こうした言葉や日頃の本人たちへの接し方に表れており、それを感じているが故に、彼らも職場へのしつかりとした帰属意識と強い責任感を持って、長年仕事に励むことができています。はないかと思いました。

株式会社ニシマキ(習志野市茜浜1-8-9)
電話 047(452)2411
FAX 047(452)2401
創業 昭和35年 従業員数15名(障がい者3名)
※「笑顔いっぱい！フレンドリーオフィス」とは・・・障がいのある人を積極的に雇用し、障がいのある人もない人も共に働いている事業所。千葉県が認定する。

特別支援学校における「働く」取り組み ～千葉県立八千代特別支援学校～

特別支援学校は、様々な障がいを持った幼児・児童・生徒たちに対して、幼稚園・小学校・中学校・高等学校に準ずる教育を行っており、特に高等部では卒業後の「生活の自立」や「仕事の自立」に向けての教育活動が中心に行われています。表面の記事にもあるように、在学中に企業や障がい福祉サービス事業所等において、体験的また実践的な取り組みとして「産業現場等における実習」が広く実施されています。



その目的は①実際の職場で働く経験をすることにより、働く者としての自覚や態度を育てること②適切な進路を選択するために、適性や課題等を把握し今後の生活に反映すること、となっていますが、実習成績が実習先に認められ結果として雇用に至ることもあります。そのような場合、障がいのある人を面接等で採用した場合に比べて、本人の障がいの特性の把握や仕事を行うにあたり発揮できる力、職場側で注意・配慮すべき点などについて十分に把握でき、定着にも有用です。



習志野市は八千代市とともに県立八千代特別支援学校の学区となっており、就労支援コーディネーターが実習の橋渡しや、学卒障がい者の採用に関しての相談に対応しています。また、障がい児の教育機関というだけではなく、学齢期の障がい児の各種相談のセンターとしての機能も有しています。

なお、平成27年4月には、市立袖ヶ浦東小学校隣に小学部単独の『(仮称)県立習志野特別支援学校』が開校することになっています。

【(仮称)県立習志野特別支援学校 開設準備室 tel:047-450-6321担当:塚田・上村】

ふるさとし

～福祉と労働をつなぐ掲示板～

♪ふるさとハローワーク オープン!

習志野市内に「ふるさとハローワーク」が開設されます。検索機を利用した求人情報の検索、相談員による就労相談ができます。(新規学卒者、障がいを持っている方は、これまで通りハローワーク船橋をご利用下さい)

開設日：平成27年1月19日(予定)

開設場所：習志野市勤労会館1階

利用時間：月曜日～金曜日(年末年始と祝日を除く)のAM9時～PM5時

問い合わせ：習志野市商工振興課

Tel 047-451-1151 内線376

♪千葉県立八千代特別支援学校販売会

①中学部

日時：平成27年2月4日(水)・5日(木) 10時～

場所：イオン津田沼 さくら通り

②高等部

日時：平成27年2月5日(木)・6日(金) 10時～

場所：イオン八千代緑が丘 2階 アゼリア広場

編集後記
先日おじいちゃんを看取った。肺気腫に肺癌であった。在宅酸素を余儀なくされ、最期は苦しまずに逝った。それがなによりだと思う▼認知症状があったので、最期は自分の意思を伝えられずにいた。もしかしたら、在宅酸素はいらなかったかもしれない▼周りは辛いだろうからとの事で決断した事。あなたも意思を伝えられる時に色々話し合った方が良いよ、と教えられた▼精神疾患を持った人も、意思を伝えられずに働けず、入院する人もいる。一方で支える側は「自分の人生だから」と自由に転職する人もいる▼この、支える側と支えられる側の人生の在り方。僕らは声なき声を十分にくみ取る事も忘れてはならないと、おじいちゃんに教えられた(I)*****

お問い合わせ
習志野市障がい者地域共生協議会
(事務局) 習志野市障がい福祉課
習志野市鷺沼1丁目1番1号(仮庁舎3階)
tel: 047-453-9206
fax: 047-453-9309
ホームページ:<http://www.city.narashino.lg.jp/joho/keikaku/shogai/jiritushiennkyougikai.html>
